

平成 17 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 常磐開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 住吉 勝馬
 (JASDAQ ・ コード番号 1782)
 問合せ先 取締役総務部長 榊原 清隆
 T E L . 0 2 4 6 - 7 2 - 1 1 1 1

平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 11 月 19 日付で発表致しました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期通期業績予想(単独)の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,500	80	100
今回予想(B)	8,100	10	30
増減額(B - A)	400	70	70
増減率(%)	4.7	87.5	70.0
前期の実績 (H15.4.1～H16.3.31)	8,116	160	133

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 3 円 82 銭

2. 平成 17 年 3 月期通期業績予想(連結)の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,900	190	200
今回予想(B)	10,800	100	100
増減額(B - A)	100	90	100
増減率(%)	0.9	47.4	50.0
前期の実績 (H15.4.1～H16.3.31)	9,656	305	237

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 12 円 77 銭

3. 修正の理由

(単独)

当社が属しております建設業界におきましては、国や地方自治体による公共事業費の削減の影響により依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境の下、全社を挙げて受注の確保に努めてまいりましたが、依然として厳しい状況が続くと予測されること、さらに、当期見込んでおりました完成予定工事物件の次期への繰越等から、売上高につきましては 81 億円となる見込みであります。

利益につきましては、競争激化による建築工事の利益低下と、前述の繰越工事の利益の減少が主な要因となり、経常利益は、10 百万円、当期純利益は、固定資産の売却益等の要因により、30 百万円となる見込みであります。

(連結)

売上高につきましては、単独の減少分はあるものの、連結子会社の増加分があり、108 億円とほぼ前回の予想通りとなる見込みであります。

利益につきましては、単独の要因が大きく影響していることと、連結子会社であります地質基礎工業(株)の建設コンサルタント業務の受注減に伴い、経常利益及び当期純利益は、1 億円となる見込みであります。

4. その他

1 株当たりの期末配当金予想額（5 円 00 銭）は変更ありません。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以上